

ファイナルレポート

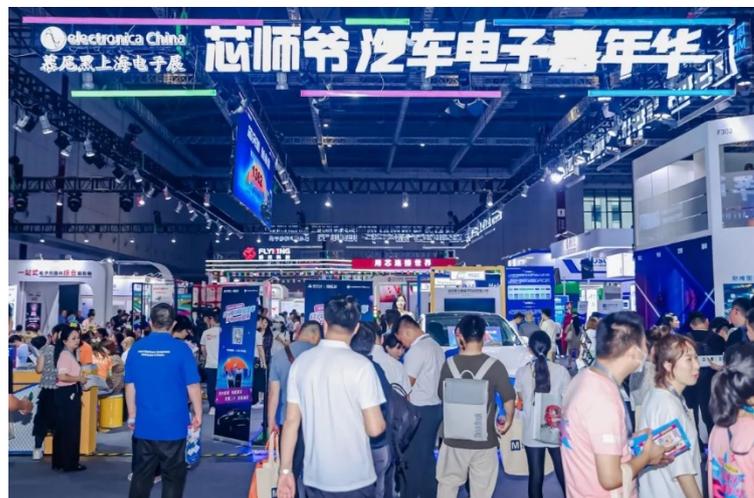
国際コンポーネント・システム・アプリケーション専門見本市
 2023年7月11日～13日
 中国・National Exhibition and Convention Center (NECC)

2023年7月13日

革新的な技巧と独創的な工夫で、electronica China 2023 は成功裏に閉幕

Summary

- 出展者 1,650 社と来場者 110,642 人が集結
- 展示規模は前回比 67%増の 10 万平方メートルに拡大
- 全 13 の専門フォーラムに業界の著名な専門家が多数参加
- electronica Automotive China がグレードアップして開催成功



Facts & Data

| | |
|----------------------|---|
| 会 期 | 2023年7月11日(火)～13日(木) 9時～17時(最終日のみ16時まで) |
| 会 場 | 中国・National Exhibition and Convention Center (NECC) |
| 主 催 | Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海 |
| 規 模 | 100,000 m ² (2021年:60,000 m ²) |
| 出 展 企 業 | 1,650 社 (2021年:1,116 社) |
| 来 場 者 総 数 | 110,642 人 (2021年:48,268 人) |
| 主な出展品と 出展技術 | <electronica China> 半導体全般、パワー半導体部品、エンベデッド・システム、センサー、MEMS、リレー、スイッチ、配線技術、受動部品、モーター、駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、マイクロ波技術、ディスプレイ、パワーサプライ |
| 出展日本企業 (現法出展など含む) | I-PEX(株)、オムロン(株)、加賀電子(株)、京セラ(株)、ケル(株)、コーデンシ(株)、サンエツ金属(株)、進工業(株)、スミダコーポレーション(株)、住友電装(株)、太陽誘電(株)、TDK(株)、ニチコン(株)、日清紡マイクロデバイス(株)、(株)日本アレフ、日本ガイシ(株)、日本航空電子工業(株)、(株)日本抵抗器製作所、(株)原田伸銅所、日置電機(株)、ヒロセ電機(株)、富士端子工業(株)、(株)村田製作所、ルネサス エレクトロニクス(株)、(株)ヨコオ ほか(50音順) |
| 専 用 U R L | www.electronica-china.com (英語) |

electronica China 2023 はこの 7 月、成功裏に終了した。今回、出展者数は過去最高の 1,650 社、展示面積は全体で 10 万平方メートルを超え、来場者数は 3 日間で延べ 11 万 642 人に上り、いずれも飛躍的に伸びて新記録となった。10 面の展示エリア、13 の専門フォーラム、ライブ・ストリーミング・イベント、会場内でのインタラクティブな活動によって、中国エレクトロニクス業界の関係者は熱気に満ちあふれた。時をかけた我々の努力が結実したのだ。つまり、2 年ぶりに復活した electronica China は、技巧と創意工夫によってエレクトロニクス業界関係者の皆々に素晴らしい結果をもたらした。

主催者メッセ・ミュンヘン CEO のラインハルト・ファイファーは、「今年の electronica China は、例年に比べて、出展者数、来場者数、展示規模のいずれにおいても目覚ましい進展を見せた。正に、中国における見本市の力強い復活が期待されている。そして、アジアのエレクトロニクス産業の代表的見本市として、今後も中国のエレクトロニクス業界が先進技術や応用製品を紹介する機会をさらに創り出し、着実に前進していくものと考える」と述べている。



多くのテーマ別セグメントが、多様なポピュラー・アプリケーション分野を基に業界全体を一体化して活動
electronica China は、エレクトロニクス産業の発展経過に沿った需要に対応して展示規模を拡大してきた。現在、半導体、受動部品、インテリジェント・インターネット接続と新エネルギー自動車、センサー、コネクタ、スイッチ、ケーブルハーネス、電源、試験と計測、プリント基板、電子製造サービス、先進の製造などのテーマ別展示エリアを設けるに至っている。そして、高度技術を持った企業もポピュラー分野の企業も、エレクトロニクスに関わる様々な分野の企業が集まって、テクノロジーの応用例を紹介したり、議論を交わしたりと、広く交流することができる場となっている。

electronica China は、単なる単一製品の集合体ではなく、垂直視点での広範な分野のアプリケーションを紹介している。産業用エレクトロニクス、自動車用エレクトロニクス、家庭用電化製品、通信システム、医療用エレクトロニクス、IoT(モノのインターネット)、新エネルギー技術、航空宇宙関連エレクトロニクスなど、多分野にまたがる業界の、上流の製品設計領域から下流のアプリケーション実装領域にわたる専門的な展示プラットフォームとなっている。

メッセ・ミュンヘン上海 COO のルー・ワンビンは、「electronica China の 2 年ぶりの再開を通して、この見本市に対する業界の信じ難いほどの熱意が汲み取れる。この見本市の準備に充てた 2 年間、私たちは成長し、学び、待ち、力を蓄え、そして、エレクトロニクス業界への真摯な思いが詰まった見本市が開催できるよう積極的に準備してきた。来場者、出展者、パートナー、メディアの信頼とサポートのおかげで、見本市は成功裡に収められ、中国エレクトロニクス産業の今後の繁栄を意味するものとなった。当社は、中国エレクトロニクス産業の専門的技術交流プラットフォームとして、初志を貫徹し、エレクトロニクス産業の同業者とともに前進していきたい」と、熱い思いを語っている。



Amphenol 社のセールスディレクター Yong Li 氏は、「私は長年 electronica China に参加し、その発展の様子を見てきたが、今年のこれほどまでのスケールの大きさに本当に驚いている。また、こんなにも多くの来場者から、製品と産業の将来に大きな信頼が寄せられていることを大変うれしく思う。今年の見本市は私が長年参加してきた中で最も活気に溢れている。そして、来年の electronica China に新たな注目スポットが登場することを期待している」と述べた。

「スマートモビリティ」における技術革新と産業連携

多方面から大いに期待のかかる electronica Automotive China は、今回も electronica China の注目イベントであった。この展示エリアは、車両のインターネット、新エネルギー車、自動運転、インテリジェント・コックピット、車載カメラ、通信、テストング、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、センサーモジュール、レーダー、パワーバッテリー、駆動と充電、電子制御システムなど、自動車産業の最新のトレンドに焦点を当て、車載チップ、車載パワー半導体、センサー、automotive-grade 対応受動部品、車載コネクタ、ワイヤーハーネス、車載 PCBなどを、業界の名高い企業が続々と出展した。



electronica China では、自動車業界のビジネスパートナーと協働して、自動車分野の斬新で創造的なインタラクティブ活動を数多く盛り込んだ特別イベント「Automotive Electronics Carnival」が開催された。これは、Xin Master 社が企画し、Ample Solutions 社がスポンサーを務めた人気イベントであり、ここでは、座談会、展示エリア、カクテルパーティー、抽選会など、様々な催しが行われた。カーエレクトロニクス業界の企業も参加して、市場動向の理解を深め、そして、新たな視点でのビジネスチャンスを増やすために、関連ソリューションを紹介した。

さらに、Gasgoo International 社と electronica China との共同で、新しいサプライチェーンのための IEV (International Electrotechnical Vocabulary) マッチメイキング・カンファレンスが開催された。「1対1の商特区」も設けられ、そこには自動車や部品のサプライヤーが、ビジネスチャンスを求めて集まった。また、DengDeng 研究院が主催する自動車ライト分解ショーでは、IM L7 ヘッドライト、Hippi X ISD インタラクティブライト、ZEEKR 001 ヘッドライトの3種類の自動車ライトが分解され、その場で展示された。そして、業界の専門家が自動車ライトの最先端技術について紹介する場も設けられた。

ルネサスエレクトロニクス株式会社の Mingyu Zhao 氏は、「electronica China は、中国において非常に重要なエレクトロニクス見本市であり、今後も良好な協力関係を維持していきたい。そして、これからは electronica China には必ず参加し、より良いソリューションを提供し、また開発環境のサポートもしていきたい」と、見本市参加について自身の考えを述べている。

参加者のインタラクティブ活動が見本市に一体感をもたらす

見本市をより有意義なものとし、出展者と来場者の交流を深めるために、200社近くの出展者が「e Visa」の会場プロモーション活動に参加した。

electronica China は、今年も elecfans.com 社との提携を継続し、ライブストリーミングで参加企業各社の上級幹部と1対1の綿密な話し合いを行った。そして、彼らを招き、IoT、カーエレクトロニクス、産業用エレクトロニクス、家電製品などのトピックスについて、業界の新しいトレンド、新製品や新技術、革新的なソリューションに関する情報を共有した。

業界の著名な専門家が13の専門フォーラムに集結

electronica China では、自動車、5G+産業用インターネット、IoT、医療用エレクトロニクスなど、一般分野へのアプリケーションと、組み込みシステム、コネクタ、ワイヤーハーネスといったホットなテクノロジーをテーマとして、エレクトロニクス業界、アプリケーション分野、研究機関から、数百人の業界リーダー、技術専門家、科学研究者を招いて、合計13の専門フォーラムを開催し、研究開発事例の共有、高度な技術ソリューションの紹介、業界の将来的発展方向についての



議論が行われた。

EYANG Technology Development 社のマーケティング・ディレクターQing Zhang 氏は、「electronica China は、中国東部で影響力のあるエレクトロニクス産業見本市である。特に、受動部品メーカーを中心とした出展者の多さは、業界における影響力の強さと重要性をはっきりと示している。今年の electronica China は、前回以上に規模が大きく、より高い技術力と専門性を備えた企業が出展しており、出展の内容も一層多様で豊富になっている。当社は来年も引き続きこの見本市に参加する考えである」と述べている。

electronica China は、今後も創意工夫を凝らし、業界の発展に鋭意貢献していく考えである。次回の electronica China は、来年、2024 年 7 月 8 日から 10 日まで、上海新国際博覧センター (SNIEC) で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで：www.electronica-china.com (英語)

資料請求、各種お問合せ先: **メッセ・ミュンヘン 日本代表部**
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目20-3 ノアーズアーク虎ノ門5階
Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp
URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語/ドイツ語)